

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第15回幹事会議事要旨

- 1 日時：令和3年2月3日(水)11時00分～11時25分
- 2 場所：オンライン（Web会議システム Zoom）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島、石濱
陪席者：西田（防災科学技術研究所）、松本（〃）、倉谷（〃）、丹羽（〃）、
齊藤（筑波大学）、大塚（〃）、秋葉（〃）、鈴木（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

（1）令和2年度総会・運営委員会委員の追加・変更について

遠藤副会長から、資料1-1～1-2に基づき、今年度の委員の新規参画および交代の説明があり、原案のとおり承認された。新委員は次のとおり。

- 真城 源学（新規） 所属：東急ファシリティサービス株式会社
- 福島 幸子（交代） 所属：電子航法研究所

（2）スリーエムジャパン株式会社の退会について

遠藤副会長から、資料2に基づき、スリーエムジャパン株式会社から退会届の提出があった旨の説明があり、原案のとおり退会が承認された。

（3）令和3年度活動計画（案）について

遠藤副会長から、資料3-1～3-2に基づき、令和3年度活動計画（案）が示され、原案のとおり承認された。次の会議については、意見交換の結果、複数の候補日時が示され、今後日程調整が行われることとなった。

- 第16回幹事会 候補日時：4月13日（火）または20日（火）の午前中
- 第4回総会 候補日時：5月11日（火）、12日（水）、18日（火）、19日（水）、
25日（火）、または26日（水）の午後

（4）コンソーシアム新規参画予定機関について

遠藤副会長から、昨年10月の合同ミーティングに参加したフランスのグルノーブル・アルプス大学がコンソーシアム参画に関心を示しており、現在、参画分野や参画内容について調整中である旨の報告があった。

（5）シンポジウムの申込状況・参画機関参加状況について

遠藤副会長から、資料4に基づき、同日午後に開催するシンポジウムに143名の事前申し込みがあった旨の報告があった。

(6) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

(1) 令和3年度 R²工学学位プログラムに係る協働大学院教員及び非常勤講師について

岡島委員から、資料 5-1 に基づき、令和3年度は協働大学院教員 12 名の任用の継続が承認された旨の報告があった。続いて、資料 5-2 に基づき、現時点で、非常勤講師に電子航法研究所・福島氏（新規）を含む 11 名をコンソーシアム参画機関から任用予定である旨の説明があった。

(2) 令和2年度「原子力規制育成人材事業」の採択について

遠藤副会長・岡島委員から、資料 6 に基づき、原子力規制庁の公募事業「令和2年度 原子力規制人材育成事業」に筑波大学が採択され、システム情報工学研究群 R²工学学位プログラムと構造エネルギー工学学位プログラムを主体として5年間の事業を進める旨の報告があった。また、本事業は既存の教育体制を生かして両学位プログラムの中にコース（原子力規制人材育成事業教育課程）を新設するものであり、両学位プログラムに所属する学生が、要件を満たすことで筑波大学長名のコース修了証を取得できる仕組みである旨の補足説明があった。

(3) 令和3年度 R²工学学位プログラムカリキュラムについて

岡島委員から、資料 7 に基づき、令和3年度の学位プログラムの開設科目について報告があった。また、資料 7 で星印を付した科目は「原子力規制人材育成事業教育課程」に対応する科目であり、現在その他に3科目の新規立ち上げを予定している旨の報告があった。

(4) その他

特になし。

以上